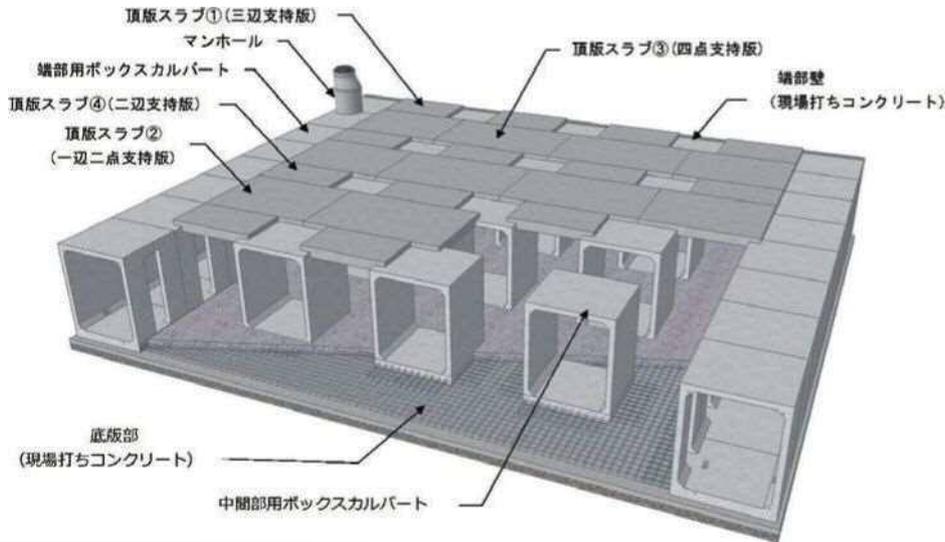


雨水貯留槽「新ボックス型アグア」

新ボックス型アグアとは…

新ボックス型アグアは、プレキャスト部材であるボックスカルバートと頂版スラブ、および現場打ちコンクリートで構築する底版部と端部壁の組み合わせからなる雨水貯留施設です。

ボックスカルバートを横方向と縦方向の両方向へ、一定の間隔を設けて敷設することでプレキャスト部材の使用量が低減され、またボックスカルバートと頂版スラブを差し筋によって連結するシンプルかつ合理的な構造で耐震性、施工性、経済性に優れています。



特長

(1) 耐震性

- ① レベル1およびレベル2地震動に対する耐震性を有しており、耐震計算法の震度法および応答変位法の両方にて設計を行い、実物大試験との結果を比較して安全性を確認しました。
- ② 実物大の製品を用いて正負交番載荷試験により耐震性の確認を行いました。



(2) 施工性

ボックスカルバートと頂版スラブの組み合わせによるシンプルな構造のため、従来製品に比べて工程数が少なく、施工期間の短縮が図れます。

(3) 構築形状の自由性

ボックスカルバートと頂版スラブの組み合わせによって現場条件に応じた様々な形状の貯留施設が構築可能です。敷地形状に合わせた配置ができ、敷地を有効に利用することができます。



雨水貯留槽「新ボックス型アグア」は、平成30年2月、(一財)先端建設技術センターによる技術審査証明を取得し、耐震性・経済性・施工性について高く評価されています。

